

木質ハイブリッド集成材で 初の7階建てビル着工

日刊 木材 新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518

http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com

購読料 1ヵ月 6,200円

©日刊木材新聞社 2016

本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

記事の森から
世界が見える

木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports

信用を商う木材総合問屋
株式会社
ダイワコム

本 社 東京都府中市西府町三ノ二二二〇
電話 〇四二(二六三)二四二二(代)
埼玉本店 埼玉県日高市森戸新田七九ノ一
電話 〇四二(九八四)二二七七(代)

接合部の施工性高めコスト削減

木質ハイブリッド集成材を使った7階建てビルが東京都内で着工する。このビルは国分寺フレイバーライフ社の本社ビルで、1〜3階をS造、4〜7階に木質ハイブリッド集成材を使う(構造的にはS造)初の7階建てになる。

に採択された。

これまで鋼材内蔵型の木質ハイブリッド集成材の施工面で難しかった柱・梁の接合部を、マキベイ20^ミ(ニチアス・ロックウール)で巻いた上から木

カバールを施工する、ノンブラケット工法を採用することにより施工性を高め、建築コスト

の明確化を進めていく。7階建てのS造のビルで木質ハイブリッド集成材を使う部分の

コストが明確になることで事業化の検討がしやすくなる(「スタジオ・クハラ・ヤギ」)。

また、プラン的に柱・梁を現しにする必要のない場所は通常の鋼

材を使うこともでき、今回のビルでも意匠的に柱を見せない場所では鋼材柱を使用する。

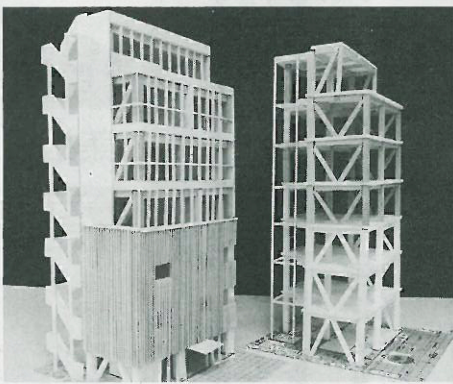
接合部の耐火検証は設計集団の協力で実施し、木質ハイブリッド柱と通常の鋼材梁の接合なども検証した。使用する木質ハイブリッド集成材はカラ松を使

用する。木質ハイブリッド集成材は鋼材を内蔵し、木材外装により意匠的には木材現しを可能にした1時間耐火部材で、日本集成材工業協同組合が開発した。金

沢エムビル、ポラテックウッドスクエアなどで使用されており、S造2時間耐火との組み合わせは初めて。

建築面積98・27平方メートル、延べ床面積602・11平方メートルの7階建て事務所ビルで、地方都市を含めて駅前などのビルへの波及・普及効果が期待できるものと

して、2015年度の国土交通省のサステナブル建築物等先導事業



木質ハイブリッド集成材を使ったビルのモデル(前方から見たものと後方から見たもの)

木質ハイブリッド集成材は鋼材を内蔵し、木材外装により意匠的には木材現しを可能にした1時間耐火部材で、日本集成材工業協同組合が開発した。金沢エムビル、ポラテックウッドスクエアなどで使用されており、S造2時間耐火との組み合わせは初めて。

建築面積98・27平方メートル、延べ床面積602・11平方メートルの7階建て事務所ビルで、地方都市を含めて駅前などのビルへの波及・普及効果が期待できるものと

集成材
FSC SGEC
SGEC/31-31-1007
FSC® C121389 「緑の環境」
お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com